学校番号	2001

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	言語文化（東京書籍）						
副教材等	『精選言語文化学習課題ノート』（東京書籍） 『新訂版最新国語便覧』（浜島書店） 『核心を学ぶ　ベストスタイル古文単語３５１』（尚文出版） 『新精選古典文法　三訂版』（東京書籍） 『新精選古典文法準拠ノート　改訂版』（東京書籍） 『体系漢文』（数研出版） 『改訂版　体系漢文準拠ノート』（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・重要な古文単語・文法、漢文の句形の知識は、古典作品の読解に欠かせません。基礎力を身につけるために、毎時の授業においては予習および復習を重視します。
・近現代の小説の読解を通して、そこに表現されている価値観・感受性・思考法などをとらえ、作品に対する理解を深めよう。
・著名な古文や漢文の読解を通して、我が国における言語文化の形成や構成の作品群への影響を理解しましょう。
・様々な作品に親しむとともに、自分だけではなく他者への理解や、文化に対する理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

（ａ）古文と漢文を読むために必要な知識・技能を身に付ける。
（ｂ）近現代の小説の読解を通し言語感覚を磨くことで、文章の内容・構成・登場人物の心情を理解したり、論理的な思考力・豊かな想像力を場面に応じて活用したりできる。
（ｃ）・古典についての理解や関心を深めることによって、感受性や思考力を高め、人生を豊かにする態度を養う。
・言葉の価値への認識を深め、生涯に渡り古典作品や小説に親しむとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深められるようにする。	論理的な思考力・共感力・豊かな想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文への扉 ［教材］ 『今鏡』 用光と白波	a：古文の世界に親しむために、古文を読むうえで必要な文語の決まりや古文特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえ、内容・構成・展開などについて、記述を基に的確に捉えている。 c：登場人物の行動や心情を捉え、自身の考えを説明しようとしている。また、他者と話し合うことで、歴史物語の意義やその書かれた背景について粘り強く分析しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	古文への扉 ［教材］ 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」	a：古文の世界に親しむために、古文を読むうえで必要な文語の決まりや古文特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえ、内容・構成・展開などについて、記述を基に的確に捉えている。 c：登場人物の行動や心情を捉え、自身の考えを説明しようとしている。また、他者と話し合うことで、説話文学の意義や教訓について粘り強く分析しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	漢文入門 ［教材］ 故事成語 「助長」 「推敲」	a：我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。 b［ 読 ］：作品の成立背景や他作品との関係性を踏まえ、作品を深く解釈している。 c：故事成語の用例を粘り強く調べることで、故事成語と実社会との接点を見出そうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	随筆 ［教材］ 『徒然草』 「つれづれなるままに」 「丹波に出雲といふ所あり」 「ある人、弓射ることを習ふに」	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c：粘り強く内容を読み解き、作品の内容・構成・教訓などを理解することで、古文の世界へ積極的に入り込もうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
二学期	桜に関する作品を読み比べる A ［教材］ 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：和歌の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c：和歌の単語を粘り強く読み解くことで、和歌とテーマの変遷を体系的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	歌物語 ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：文章の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

	『十訓抄』 「大江山」	c：地の文と和歌の関係性を粘り強く読み解くことで、本文を体系的に理解しようとしている。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二学期	短歌 ［教材］ 正岡子規 若山牧水 石川啄木 永井陽子 俵万智　など	a：現代短歌の世界に親しむために、韻文学の表現技法などの役割を理解している。 b［ 読・書 ］：「読むこと」短歌の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。「書くこと」：自分の知識や体験のなかから適切な題材を決め、集めた材料の良さや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 c：短歌を粘り強く読み解くことで、現代における短歌の表現や形式を体系的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート
	俳句 ［教材］ 正岡子規 高浜虚子 黛まどか 神野紗希　など	a：俳句の世界に親しむために、韻文学の表現技法などの役割を理解している。 b［ 読・書 ］：俳句の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。「書くこと」：感じたことや発見したことを俳句の表現形式を適切に用いて表現している。 c：俳句を粘り強く読み解くことで、現代における俳句表現や形式を理解しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	詩歌 ［教材］ 『一つのメルヘン』 『あいだ』	a：詩歌の世界に親しむために、韻文学の表現技法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：詩歌の構成・展開・表現法・表現の特色などを理解している。 c：詩歌を粘り強く読み解くことで、現代における詩歌の表現や形式を体系的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	日記 ［教材］ 『土佐日記』 「門出」 「帰京」	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：旧暦・古時刻・旧国名などの古典常識について積極的に調べ、それらを古文の読解に活かそうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	「土佐日記と古今和歌集を読み比べる」 ［教材］ 『土佐日記』 『古今和歌集』	a：古文の世界に親しむために、単語・古文常識・文法などの役割を理解している。 b［ 読 ］：作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：それぞれの作品の相違を確認し、それらの違いを通して、古文の読解に活かそうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
三学期	詩文	a：我が国の言語文化の特質および外国の文化との関係について理解している。	定期考査	定期考査	ワークシート

	［教材］ 「鹿柴」 「春望」 「香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁」	b[　読　]:作品の時代背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:由来に関し諸説ある漢語「葡萄」・「琵琶」などの語源を調査する活動において、粘り強く取り組んでいる。			
三学期	物語 ［教材］ 『竹取物語』 「天の羽衣」 「富士の山」	a:文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。 b[　読　]:作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c:登場人物の心の動きを、時代背景をも含め、的確に把握しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート
	小説 ［教材］ 『鏡』	a:文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。 b[　読・書　]:「読むこと」作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。「書くこと」:自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開やん文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 c:登場人物の心の動きを、語りや描写の特徴から、的確に把握しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート
	思想 ［教材］ 『論語』	a:文や単語の意味が文脈の中で形成されていることを理解している。 b[　読　]:作品に表れている価値観・感受性・思考法を捉え、内容を解釈している。 c:粘り強く内容を読み解き、作品の内容・構成・教訓などを理解することで、漢文の世界へ積極的に入り込もうとしている。。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間